

協同組合を活用したバイオガス及び有機肥料の生産・利用拡大に関する協力覚書 （「日印バイオガス成長イニシアティブ（CBGイニシアティブ）」）

- 今般の日印首脳会談の成果として、日本の経済産業省とインドの協同組合省及び畜産・酪農局は、バイオガス及び有機肥料の生産・利用拡大に関する協力覚書（MOC）に署名。
- 本協力は、インドの農村振興、エネルギー自立、マルチパスウェイ（※）の実現などを目的に、インドの協同組合と連携し、バイオガスプラント1,000基の整備、研究開発、人材育成等を進めることで、農村部に豊富に存在する未利用バイオマス資源（牛糞など）を活用したバイオガス及び有機肥料の生産・利用拡大を図るもの。
- 今後、バイオガスを燃料とするCNG車の普及拡大等を通じ、自動車産業をはじめとする日本企業にとって新たな成長市場の創出につながることが期待。

※多様な技術の活用による自動車分野の脱炭素化

【協力覚書の主な内容】

バイオガス及び有機肥料の生産拡大に向けて、以下を含む両国政府及び産業界間の連携強化を促進する。

- **バイオガス・有機肥料の生産拡大**：インドにおけるバイオガスプラント1,000基の整備目標の実現に向けた、ファイナンス面を含めた協力の強化。
- **研究開発・技術協力の推進**：研究開発、実証事業、人材育成等を通じた技術協力を強化。
- **農村振興及び産業化の促進**：農村部の所得向上、雇用創出及び関連産業の育成を推進。
- **脱炭素化・カーボンクレジット創出**：温室効果ガス排出削減及びクレジット創出に向けた連携を推進。
- **資金・制度・関係主体連携の強化**：資金支援、政策・制度に関する情報共有、関係機関・企業間の連携強化及び合同作業部会（JWG）の設置を検討。
- **第三国展開**：日印の協力モデルのグローバルサウス等への展開を推進。